

# かべしんぶん

2017年3月号

(通算40号)

発行：平診9条の会

戦争法廃止を野党  
と市民の共闘で！

米大統領と安倍首相が  
会談とゴルフ。その日  
に北朝鮮は弾道ミサイル  
の発射実験。日米は  
抗議する。しかし、国連  
での核廃絶の合意を作  
ることには背を向ける。  
全く道理がない！

2月9日 平和を願う ランタンまつり 平診玄関にて開催しました



看護師を中心に、平和の願いを書いたランタンを作りました。ステキですね！ 2・16にも開催・・・この時は風で・・・

2月27日、平診九条の会運営委員会を13名の参加で開催しました。「戦争体験を聞く」13回目は看護師の天下直美さんが発表。ミニ学習は「共謀罪について」事務職の中田智大さんが講師を務め、全員が一言発言を行い討論しました。

●なぜ、自民党は急いで共謀罪を急ぐのか？戦争法を廃止する運動を前もって抑えること。オリンピックのテロ防止にかつて。

●共謀罪はあいまいな法律の内容だけど、政府の意向で9条の会で行うスタンディングだって抑え込むことができる。

●怖い点は、小さく生んで、大きく育てる。治安を乱すものは、死刑まである。

●戦争できる国「それに文句を言えない国を作ることだ。

●これが成立したら、国民は国の言いなりになるしかなくなる。

●安倍首相は、積極的平和主義と言うが、嘘でまかり通る国になる。

●初めて「共謀罪」の内容を知った。何も言えない国になる。労働組合は戦争反対も言えない。怖い！

●国の政策に反対することも犯罪になることは怖いです。●共謀罪」は知らなかった。自分の主張ができないなら、独裁政治」になって怖く。

●独裁政治、北朝鮮のようになる。怖いです。

●1928年、治安維持法で山本宣治が暗殺され、その葬儀で労働者・農民の病院を作ろう！と決意したのが民医連の始まりだ。

●テロ以外でも犯罪になると判断するのは警察だ。監視社会となるだろう。戦前に戻ってしまう。

●犯罪の境界線がわからないのが怖い。労働組合でも学習会をする予定です。

●共謀罪の内容を始めて知った。何が犯罪になるかが決まっていない。言論自由な時代が危ういです。

●政府に逆らうことも許されない！怖いことです。反対しなさい！

●私たちが選んだ代表が国会でこの法律を許せば、監視社会になってしまう。





# 戦争体験を聞く 第13回

85歳女性のSさんから看護師の天下直美さんが聞き取り、発表しました。(その要約です)

宮城県で1931年(S6年)生まれる。父親が夕張炭鉱で働いていた。母親が31歳で亡くなり父の姉に預けられて仙台で過ごした。北海道に4歳の時に移り住んできた。S17年、小学校6年の時に(西芦別に来て、それからはずっと芦別に住んでいる。学校へ行っている時に5日間泊り込みで森林鉄道の線路の草取りに行っていた時があった。運搬車に乗っている時に左足首に大きなケガをした。その後担任の先生が色々動いてくれて、父は横須賀の軍事工場へは行かなくてもよくなった。3月に学校を卒業(15歳)して、8月のある時に親が涙を流して泣いていた。自分は何が起きたのか意味が全くわからなかったが親から戦争に負けたことを聞いた時に初めて『敗戦、敗戦って言うていたのはそういうことだったんだ』と意味がわかった。終戦前に芦別の空が曇っていた。空からガラガラガラと大きな音が聞こえて、皆で『何だ、何だ?』と外へ出て見に行ったら。富良野に雲の切れ目があって3発の爆弾を落とす話の後から聞いた。終戦後は何せ食べる物がなくて困った。西芦別に赤鉄管がありトウキビやイモをもらって食べていた。当時は何でも配給の時代。食べ物を貰うために長い列が出来ていた。母がデンプン滓(かす)を水で洗い、ミミズや皮などを取って少しでも身があるように目の粗いザルで濾して丸めて焼いて食べた。父親が仕事の休憩時間に帰ってきて、家のすぐ裏の山でフキを採ってきて、それを自分と母と一緒に皮を剥いて、火を通して帰ってきて、家のすぐ裏の山でフキの状態のまま味をつけて食べていた。戦争中・後は食糧難で大変だった。母は大変だったと思う。育てる母は2015年に亡くなった。……戦争中・後は食糧難で大変だった。母は大変だったと思う。育てる母は2015年に亡くなった。

安倍政権は本気で日本を戦争する国にする気ですね。そのために、共謀罪を通し、民主主義を殺す。共謀罪はわかりにくいと思っていたが、意外とわかりやすいですね。反対しありません。

## 次回運営委員会は3月27日

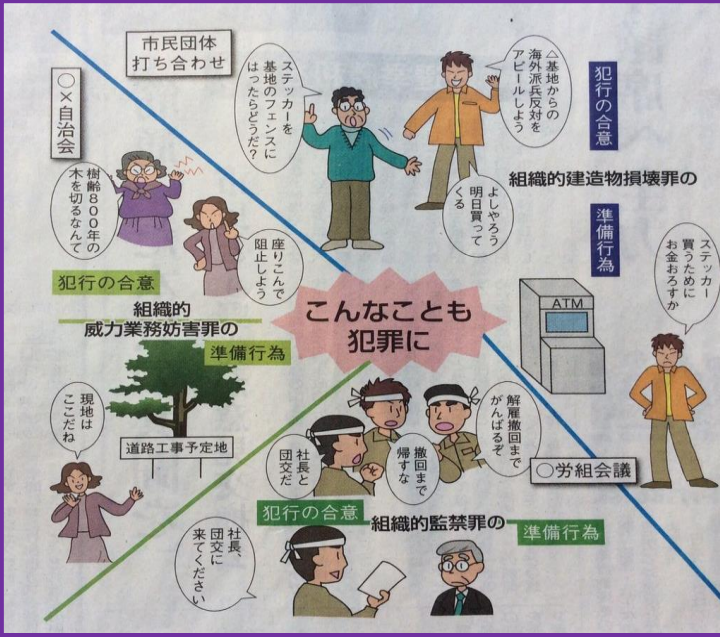
- ・戦争体験を聞く 14回目
- ・平診卒業(転出)者に「平診9条の会への『おきみやげ』」を語っていただきます。



自衛隊員の命を守ろう! 防衛大臣の辞任を求め3週連続国会前抗議

## 止めよう! 安倍政権の「戦争する国」づくり

### 自衛隊は南スーダンからただちに撤退を!



## ミニ学習

### 「共謀罪」成立の本当の目的と問題点

講師: 事務 中田 智大さん



■共謀罪とは: 具体的な犯罪について、2人以上の者が話し合って合意するだけで処罰することができる犯罪。長期4年以上の懲役・禁固等を定める600を超える罪を対象とする広範なもの。■成立の目的: 国際組織犯罪防止条約締結のための国内法整備、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのテロ対策のためと説明。■問題点①政府は、「組織的犯罪集団に対象を限定しているので市民団体や労働組合などの団体は除外される」と説明。しかし、市民団体や労働組合が何か犯罪を議論した場合、その瞬間に「組織的犯罪集団」に変えることが可能。例えば、沖縄の基地問題に反対する団体が座り込むことを計画すると「威力業務妨害」の共謀にあたり、その団体は「組織的犯罪集団」にされる。②刑法の原則を犯している→今の刑法は「既遂」があった場合にのみ処罰の対象。「未遂」で処罰されるのは例外的。③多くの犯罪が対象に→共謀罪の適用はテロ行為と限定されているのではなく、「刑法の懲役4年以上」に該当する犯罪で対象犯罪が限定されていない。④警察の捜査権限の拡大→2016年5月に「盗聴法」が改悪され、薬物、銃器などの犯罪の限定が、傷害、窃盗、強盗などの一般犯罪にも拡大。「共謀罪」が成立すると、警察が日常的に市民団体や労働組合を監視・盗聴することが可能。この法案の本当の目的って何だと思いませんか? どのような行動を起こしたらいいと思いませんか?